

「向学の熱」

令和4年度 竜北中学校 学校便り 第8号

文責 校長 高橋 博之

学校ホームページ <https://jh.higo.ed.jp/ryuhoku/>

高校生との交流 ～八代農業高校の「出前講座」～

11月18日（金）に、八代農業高校より高校3年生6名が来校し、2年生を対象にした「出前講座」を行っていただきました。この出前講座は、熊本県が農業高校と連携した「未来の新規就農者掘り起こし事業」の一環として行われたもので、中学生を対象に農業の魅力を伝えようという取組です。当日は、「花の植え付け」と「ドローン操作体験」の2つのグループに分かれ、体験活動を行いました。

花の植え付けでは、八代農業高校で育てた花の苗を高校生のアドバイスを受けながら正門前のロータリー等に植え付けました。（高校生が作成したコンクリート製の立派な花壇もいただきました。生徒昇降口前にありますのでご覧ください。）



ドローンを見上げています



高校生の助言を受けながら植え付け

ドローン操作体験では、初めは高校生が操作する様子を見せてもらい、後半は中学生もドローンの操作を体験しました。初めての体験なのでドローンを壊したりしないかとハラハラしましたが、高校生の的確なアドバイスに加え、ゲーム等で鍛えた（？）のか“Z世代”の中学生はとても上手に操作していました。

これから、進路について本格的に考えていく2年生にとって、今回の出前講座は、たいへん有意義な時間となりました。八代農業高校の先生・生徒の皆さん、貴重な機会を提供いただきありがとうございました。

「ようこそ先輩」～学校運営協議会(CS)の取組～

本校の学校運営協議（以下CS）では今年度、「ようこそ先輩」の取組を始めました。この取組は、「中学生の頃どのように進路を決めたか」「今の仕事を選んだ動機や仕事のやり甲斐」「自分の中学時代を振り返り、今の中学生に伝えたいメッセージ」等々（内容はそれぞれの委員さんに任せています）、人生の先輩としてCS委員が中学生へに思いを伝えるといったものです。

12月15日には、田副委員【下左】、古閑（靖）委員【下右】から、『夢を実現するには準備・決断・相談、何より夢に向かって情熱を持ってチャレンジすることが大事』『どこの高校・大学等へ行くかではなく、行った先で何をすることが明確ではないと無駄な時間を送ることになる』といった内容の話がありました。

進路選択を間近に控えた3年生が、真剣な眼差しで話を聞く姿が印象的でした。



～人権月間にあたって～

孔子の教えをまとめた「論語」の中に、次のようなものがあります。ある時、孔子の弟子である子貢が孔子に、「人として生きていく上で、一番大切なことを、ひとつの言葉で言うとしたら、何でしょうか」と聞きました。孔子は「それは『恕（じょ）』という言葉だ」と答えました。『恕』という言葉の意味は、思いやりの心、ということです。「思いやりの心」とは、具体的にどんなことでしょうか。孔子は「恕」と答えた後、続けて「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」と言いました。つまり、「自分が人からされて、いやだと思うことは、決して人にはしてはいけない。（常に、相手を思ういたわりの心を持ちなさい）」ということです。

本校においては、12月20日に人権集会を行い、各学年の代表者による人権作文の発表がありました。発表の中にも、いじめや人権に関する問題解決には、何より自らが“他者を大切にできる心”を持って行動していきたいという強いメッセージがありました。

相手を思う、いたわりの心をもつという『恕』の精神は、私たちの心の中にしっかり焼き付けなければならない大切なものだと思います。



